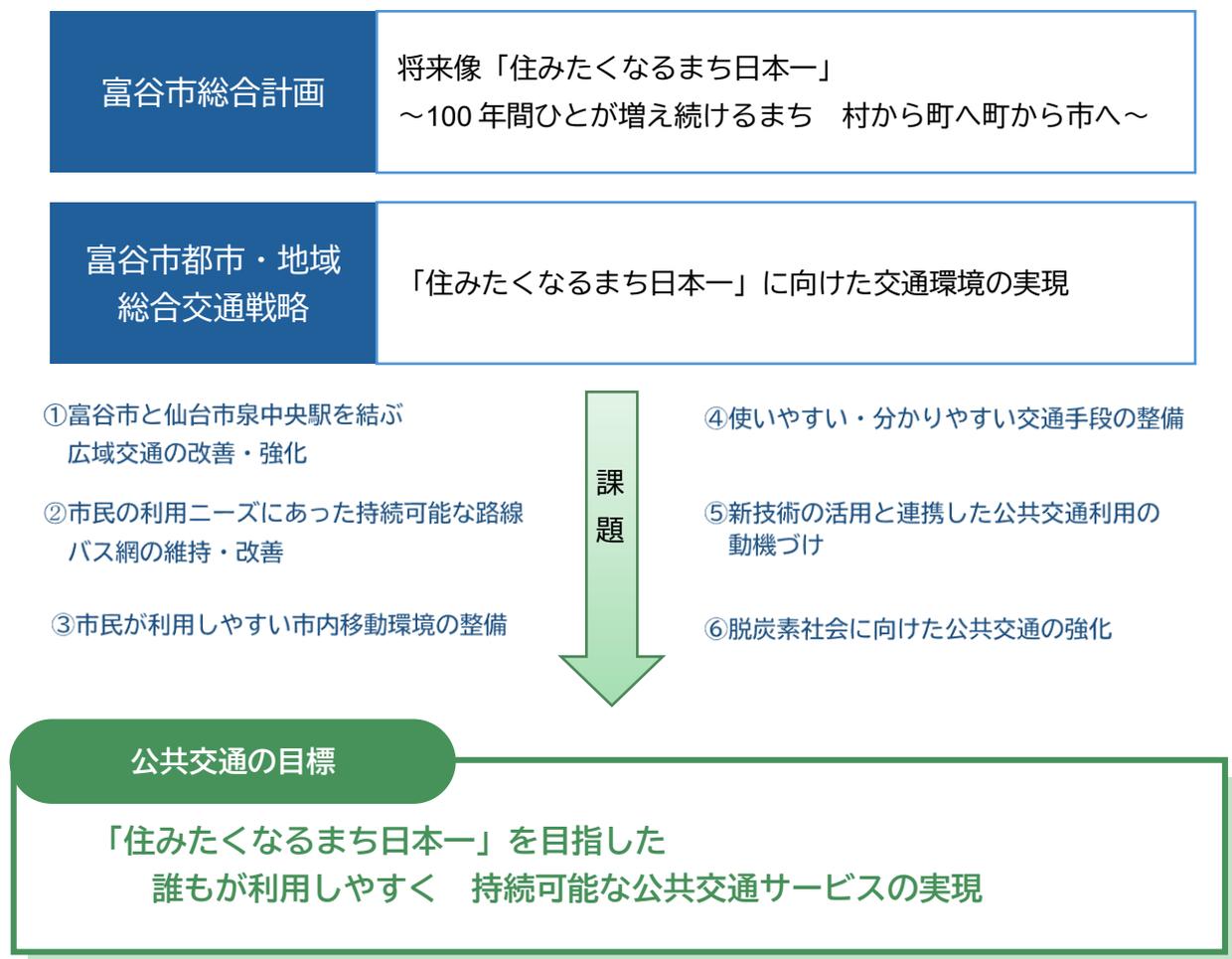


## 3. 公共交通に関する目標及び基本方針

### 3.1 公共交通に関する目標

富谷市総合計画で示される市の将来像「住みたくなるまち日本一～100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～」の達成を目指し、公共交通の課題の解決を図ることができるよう、目標を設定します。

「住みたくなるまち日本一」の実現は、「富谷市都市・地域総合交通戦略（基本計画）」の基本方針にも設定されており、またそのための交通の将来像として示される姿も見据えた取組とします。



## 3.2 公共交通に関する基本方針

基本目標を達成するため、以下のとおり基本方針を定めます。

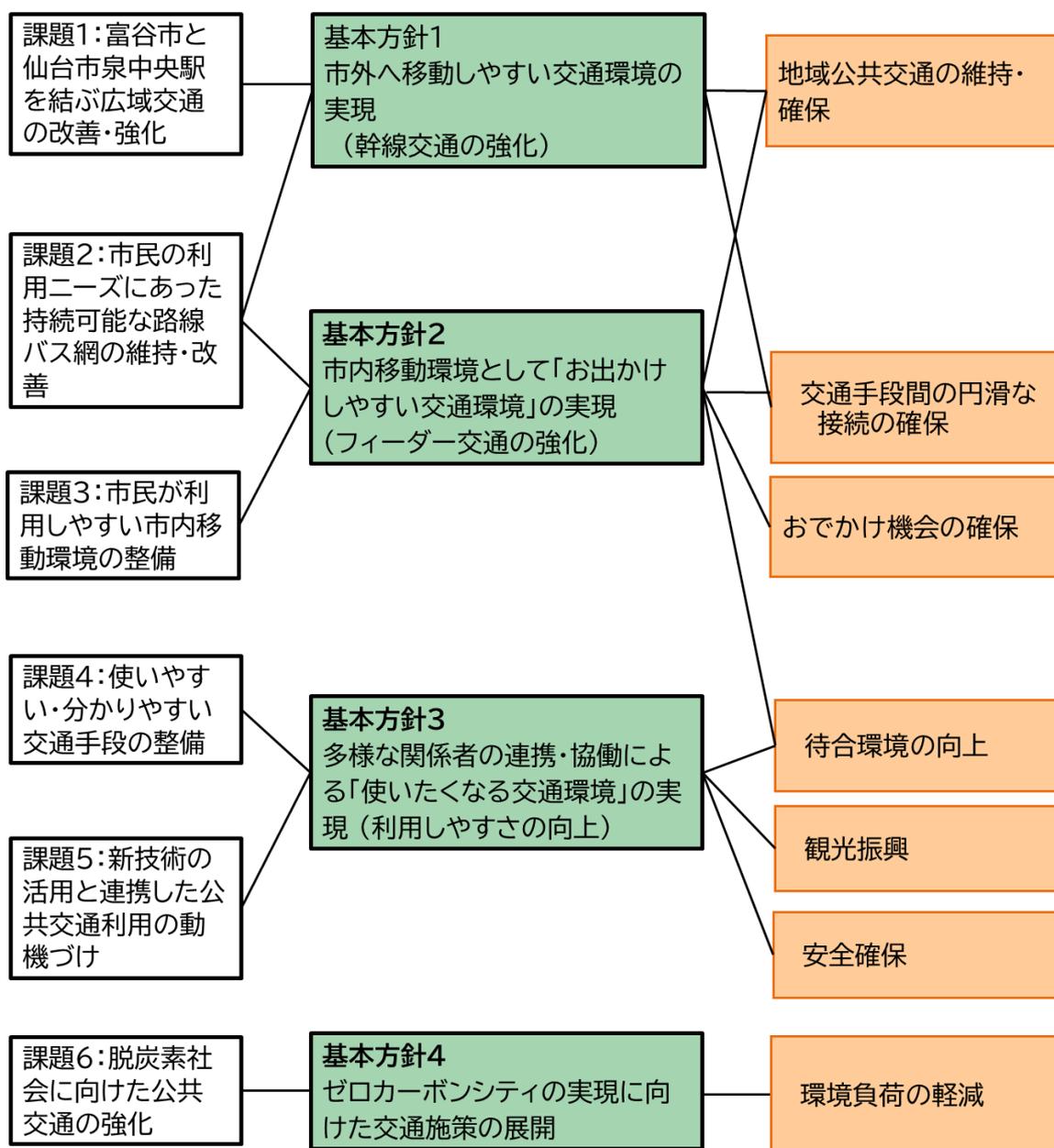
基本方針については、富谷市都市・地域総合交通戦略（基本計画）における「戦略の柱1～3」を一部見直しするとともに、新たに「ゼロカーボンシティの実現に向けた交通施策の展開」を加えた4つの方針とします。

基本方針に基づく施策の展開により、公共交通に関する課題を解決し、目指すべき姿に近づけていくことで、公共交通の目標の達成を目指していくものとします。

《公共交通に関する課題》

《基本方針》

《目指すべき姿》



## 基本方針 1 市外へ移動しやすい交通環境の実現（幹線交通の強化）

○幹線交通の強化として、仙台市泉中央駅までの新たな軸となる基幹公共交通（地下鉄・BRT、都市型自走式ロープウェイ等）の整備に向けた調査・検討を進めるとともに、民間路線バスも含めた周辺都市へのアクセス利便性を高めるなど、多様な交通手段が選択できる交通環境の実現を目指します。

## 基本方針 2 市内移動環境として「お出かけしやすい交通環境」の実現（フィーダー交通の強化）

○市民バスやデマンド型交通等の利便性を向上させるとともに、公共交通を移動手段として市内を移動する人々が快適に移動できるように、市全域におけるきめ細かな交通サービスの提供を目指します。

## 基本方針 3 多様な関係者の連携・協働による「使いたくなる交通環境」の実現（利用しやすさの向上）

○行政、交通事業者、市民等が連携・協働するとともに、DXの活用等による市民が使いたいと思える交通環境の実現を目指します。

## 基本方針 4 ゼロカーボンシティの実現に向けた交通施策の展開

○FCバス・EVバスやEVカーの活用など、地域交通のGX（グリーン転換）化等による環境負荷の小さい快適で魅力あるまちの形成を目指します。